

# 石積施工の技術向上を図る



↑見栄えや施工技術を確認する参加者

6月8日、地元の建設業者が集い、石積擁壁の現地検討会と研修会が行われました。

これは、町が公共事業等の施工の際、自然石を利用した石積みを施工し、魅力ある景観づくりを推進しているのを踏まえて実施されたもので、建設業の現場監督や町関係者ら約50人が参加しました。

現地検討会は、役場職員の指導のもと、すでに工事が完了している町内10カ所の石積み視察。長島町商工会館で行われた研修会では、施工技術の確認のほか、施工単価などについて、町への要望も出されました。

この研修会に合わせて行われた、長島町ふるさと景観条例「景観賞」の審査で、平成17年度平吹山寺線道路改良工事と平成18年度川床梅ノ木山線道路改良工事（2工区）の石積擁壁施工者が表彰されました。

## 集落合併する場合の参考に

### 検討する場合の「たたき台」冊子を作成

合併前の平成16年11月に

「長島地区まちづくりフォーラム」10人の委員から「長島地区合併協議会」に、各分野ごとに新しいまちづくりへの提言があり、コミュニティ分野では「集落機能の低下が心配される地域やある程度一体性のある地域などにおいて、住民の意見を十分踏まえたうえで、集落統合も検討する」と意見・要望書が提出されました。

これを受けて、同協議会でも協定項目として「自治会・行政連絡機構の取扱い」について協議されましたが、「自治公民館等の区域は現行どおりとする」として「新町において公民館組織の再編も含め推進する」と合併後の新町に

期待が寄せられていました。

平成18年12月、長島町各界代表8人の委員からなる「長島町行政改革推進委員会」に諮問された「長島町行政改革大綱」でも、自治公民館の合併支援の推進を目標課題としました。また、平成19年3月の第1回定例議会においても推進方策等の一般質問がなされました。

そこで総務課では、自治公民館（集落）が今後、合併について話し合いをする場合の「たたき台」として、冊子を作成しましたので、活用をお願いいたします。

【問い合わせ先】

役場総務課

Tel 0996・86・1111  
内線1212

